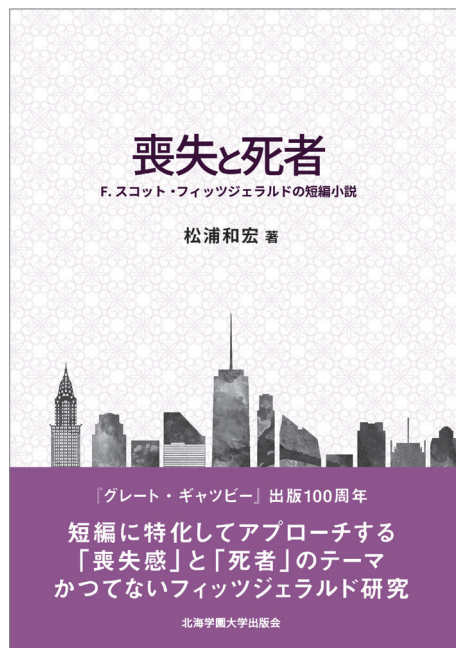




北海学園大学出版会



喪失と死者

——F. スコット・フィッツジェラルドの短編小説——

著者 松浦和宏

判型 A5 判

ページ数 144

発行日 2025 年 3 月 31 日

ISBN 978-4-910236-12-4 C3098

定価 5,060 円（本体 4,600 円 + 税）

【内容紹介】

『グレート・ギャツビー』出版 100 周年 短編に特化してアプローチする「喪失感」と「死者」のテーマ かつてないフィッツジェラルド研究

F. スコット・フィッツジェラルドの作品には、喪失や死者のテーマがなぜか頻繁に登場する。それも、知名度の高い短編作品にはほぼ例外なくそれらが描かれている。死者とは過去に失われた存在であるという意味で、この 2 つは陸続きのテーマなのだが、問題は彼の作品がなぜこのような傾向を有するのか、という点だろう。人間、誰もが最後は死んでしまうのだから、作品に死者が登場するのも当然だと考えるべきなのか。いや、そんな普遍化が罷り通らないほど、この作家は死者と喪失にオブセッション的に囚われてしまっている。

このテーマがなぜこの作家の心を捉えて離さなかったのか。これまでも同様のテーマに着目した研究は存在しているが、本書のように短編作品に特化して考察しているものは、存在していないように見受けられる。フィッツジェラルドの短編小説は、各作品の研究は一定程度進んでいるものの、複数作品をまとめてその有機的な関係を考察した研究は少ない。本書では短編小説の複数作品をまとめてその有機的な関係を考察し、各短編小説に沈殿する作家的主題を炙り出し、この作家の作品に新たな解釈を提供したい。

【著者紹介】

松浦 和宏（まつうら かずひろ）

東京都目黒区に生まれる。東北学院大学文学部英文学科（夜間主コース）卒業。北海道大学大学院文学研究科言語文学専攻博士課程修了。博士（文学）（北海道大学）。北海学園大学法学部講師を経て、現在北海学園大学法学部准教授。専攻は現代アメリカ文学（主に F. スコット フィッツジェラルド作品）、南アフリカ文学（主に J. M. クツェー）。研究のテーマはフィッツジェラルド作品におけるアメリカの資本主義と喪失。